

柯若儀氏に対する平成28年度日本外務大臣表彰の授与について

平成28年11月4日
在瀋陽日本国総領事館
在大連領事事務所

9月7日、大連医科大学付属第一医院内科教授である柯若儀氏に対する平成28年度日本外務大臣表彰の伝達式を、同医院二部会議室にて執り行いました。

柯若儀氏は1985年に日本留学経験者等で組織される「大連市中日友好学友会」を他会員と共に設立し、以降30年以上に亘り医療交流、文化交流、大連駐在邦人の生活支援等の分野で、日本・大連市関係の発展及び相互理解の促進に貢献してきました。

また、80年代後半から90年代後半にかけ、当地日本人学校及びその前身である日本人補習校の学校保健・医療を無償でサポートし、教員の確保や学生交流等各方面にて当地教育機関との橋渡しを行う等、当地日本人学校の設立と運営に対し、大きな貢献を果たしました。

式典では大連領事事務所の平川所長から同氏に対し表彰状及び記念品が伝達され、大連市外事弁公室の劉舫副主任、大連医科大学の李岩・国際合作交流処副処長、同大付属第一医院の夏雲竜・副院長、馬靈斐・副院長、大連市中日友好学友会の杜鳳剛会長、大連日本商工会の笹原副理事長、大連日本人学校の今野事務長など、各界の来賓が出席して同氏の外務大臣表彰受賞を祝いました。

同氏はスピーチの中で、「この賞は自分一人のものではなく、病院スタッフや中日友好学友会の会員と一丸になって行ってきた努力が報われたもの」と強調し、受賞の喜びと周囲の人々への感謝の意を表しました。

日中友好のために果たした貢献が認められ、現地メディアから「民間外交家」と称されたこともある同氏。当地在留邦人から「大連のお母さん」という愛称で親しまれたその善良で謙虚な人柄と日中友好にかける想いの強さに、参加者はみな深い尊敬の念と感動を覚させられました。

別添写真

会場の様子（大連医科大学付属第一医院二部会議室）



大連領事事務所・平川所長による表彰状の伝達



大連市政府外事弁公室・劉副主任による祝辞



受賞の喜び・感想を語る柯若儀医師



大連医科大学付属第一医院・夏副院長による祝辞



大連市中日友好学会・社会長による祝辞

